

一般質問

QRコードから各議員の一般質問をご覧ください。配信は会議録が調製され次第終了します。(タブレット・スマートフォンに対応。通信料は別途発生します。)

介護現場の現状と支援について

日本共産党高山市議団
坂下美千代



問 介護の現場では人手不足からデイサービスを休止する事業所があるが、その現状把握はできているか。4月から訪問介護の報酬単価が引き下げられたが、その影響をどのように把握しているか。また、今後運営が困難に陥る事業所への支援はあるか。

答 昨年度以降、デイサービスを廃止したのは2事業所、3事業所は定員を縮小し、1事業所が休止する予定。報酬単価引き下げの影響は6月の実績結果を確認する中で事業所の意見を聞いていく。今年度は介護職を目指す学生の育成等の支援を拡充するなど、今後も各事業所と連携を図り、人材確保に向けて取り組んでいく。

安心、安全な学校給食について

日本共産党高山市議団
上嶋希代子



問 学校給食の主食はご飯とパンと麺類があり、輸入小麦粉を使ったパンを検査した結果、高山では検出されていないが、グリホサートが検出されたところがある。国産の小麦に切り替えている自治体も増えているなか、安心・安全な食材を求めようとすれば地元産の小麦に切り替えられないか、市の考えは。

答 市の学校給食の主食は岐阜県学校給食会より購入している。麺類のうち、うどんは100%岐阜県産小麦を、パンやソフト麺は、岐阜県産小麦と外国産小麦をそれぞれ50%使用。パン等に外国産小麦を使用する理由は、岐阜県産の小麦粉はグルテン含有量が少なく不向きなため、農林水産省が輸入する食品衛生法等の基準に適合した安全なものを使用。飛騨は小麦の栽培には適さず、生産量がわずかなため学校給食での使用は難しい状況。

飛騨匠の技術継承 真の「飛騨匠」の育成を

未来
松山篤夫



問 高山市は平成28年度に文化庁から日本遺産として「飛騨匠の技・こころ」のストーリーが認定を受けているが、飛騨匠の本流である寺社建築の修理現場では、飛騨の技術者が必ずしも十分に活躍できていないのではないか。「飛騨匠の技・こころ」を未来に伝えていくためにも、木造建造物を手がける真の「飛騨匠」を育成するような取組に期待したいが、市の考えは。

答 「こけら葺き」の修理については、平成24年に荒城神社本殿で文化財の修理として行った。今後の修理も市内の技術者が活躍できるように取組んでいく。



荒城神社

新教育長の学校教育に関する考え方

未来
車戸明良



問 新教育長の学校教育への信条は。

答 子どもたちの「心に光を灯し」大人になっても「学び続ける心」がもてる教育が信条。学校教育が「点の教育」で完結することなく、生涯学習が気持ちを持ち続けられるものでありたい。

問 「小・中学校教育の方針と重点」を推進するため、「アタッチメント（愛着）」を重要視して、より個と向き合って進めることは。

答 教師や子どもたちの関係から得られるアタッチメントの心があって、実現していくもので、土台にする。

問 休日の部活動の地域移行の進捗状況は。

答 市全体の3分の1が完了し、令和8年度には、全て移行する。